

徹底攻略 XMLマスター ベーシック問題集 V2試験対応 正誤表 (2016年8月18日更新)

書籍に掲載した内容の間違ひによって読者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。正誤表をご用意させていただきましたので、お手数ではございますが、ご確認の上、ご利用ください。

ページ	訂正部分	誤	正	備考	訂正した刷
13ページ	問題7の選択肢C	XML文書のツリー構造から特定ノードを選択する式を記述するための仕様である	XML文書のツリー構造から特定ノードを指定する式を記述するための仕様である	-	4刷
17ページ	図【XML関連規定】	XSL-FO: 表示	XSL-FO: レイアウト	-	4刷
17ページ	図【XML関連規定】	XPath: アドレス定義	XPath: アドレス指定	-	4刷
18ページ	解答7、1行目	Xpathは、XML文書のツリー構造から特定ノードを選択する式を記述するための仕様です (C)。	Xpathは、XML文書のツリー構造から特定ノードを指定する式を記述するための仕様です (C)。	-	4刷
26ページ	問題13 選択肢Dの2行目	<data unit="quot;timesquot;" />	<data unit="quot;timesquot;" />	dataの後の>を削除	2刷
27ページ	問題17の選択肢A、1行目	<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?>	<?xml version="1.0"?>	-	4刷
30ページ	問題19のDTD、1行目	<!ELEMENT data ((EJB COM),(JSP C++))>	<!ELEMENT data ((EJB COM),(JSP C))>	-	4刷
30ページ	問題19のDTD、5行目	<!ELEMENT C++ (#PCDATA)>	<!ELEMENT C (#PCDATA)>	-	4刷
30ページ	問題19の選択肢D、5行目	<C++ />	<C />	-	4刷
34ページ	問題24 問題文XML Schemaの7行目	<xs:element name="Recource" type="xs:string" />	<xs:element name="Resource" type="xs:string" />	-	2刷
37ページ	問題26 9行目	<xs:element name="名" type="xs:string" />	<xs:element name="和書" type="xs:string" />	-	2刷
43ページ	解答4、下から10~11行目	空要素は、「<要素/>」のように要素だけで表現することもできます。	空要素は、「<要素/>」のように空要素タグだけで表現することもできます。	-	4刷
45ページ	解答5の「②XML文書の文字エンコーディング」の4行目	UTF-8、UTF-16のいずれかの形式が指定されます。	UTF-8、UTF-16のいずれかと解釈されます。	-	4刷
45ページ	解答5、下から2行目	Dはversion属性とencoding属性	Dはversion指定とencoding指定	-	4刷
46ページ	解答7、4行目	コメントデータ	コメント	-	4刷
46ページ	解答7、【コメントに関するポイント】の5~6行目	・「<!--<ELEMENT ~ (#PCDATA)-->」のように、DTDをコメントにすることも可能である	・「<!--<ELEMENT ~ (#PCDATA)-->」のように、DTDの宣言をコメントにすることも可能である	-	4刷
47ページ	解答8、1行目	(この例では「x<10」)	(この例では「x<10の場合の処理」)	-	4刷
48ページ	解答10、図【性形式XML文書と妥当なXML文書】の右下の枠内	文法に正しく沿っている	XML文書全体が文法に正しく沿っている	-	4刷
49ページ	解答11、10~11行目	・属性は、必ず開始タグ内に記述しなければならない(終了タグには記述できない)	・属性は、開始タグまたは空要素タグ内に記述しなければならない(終了タグには記述できない)	-	4刷
51ページ	解答15、4行目	先頭または末尾の空白文字列が取り除かれ、	先頭および末尾の空白文字列が取り除かれ、	-	4刷
52ページ	解答17、1~2行目	DTDを記述する場合に必須の要素型宣言の記述についてです。	要素型宣言の記述についてです。	-	4刷
53ページ	解答18、1行目	属性リスト宣言に関する問題です。	(左の欄の文章に相当する部分を削除)	-	4刷
53ページ	解答19、2行目	「(EJB COM)」と「(JSP C++)」のいずれか1つが	「(EJB COM)」と「(JSP C)」のいずれか1つが	-	4刷
53ページ	解答19、4行目	JSP要素またはC++要素	JSP要素またはC要素	-	4刷
55~56ページ	解答23、55ページの最後の行から56ページの1行目にかけて	モデルグループの宣言の中で、オプションとして要素の出現回数の指定ができ、これをパーティクルと呼びます。以下の2つの属性を使い分けます。	モデルグループの宣言の中で、オプションとして要素の出現回数の指定ができ、以下の2つの属性を使い分けます。	文章の一部を削除	4刷
56ページ	解答23、【例 minOccurs属性とmaxOccurs属性】の4行目	<xs:element name="data" type="xsd:string"	<xs:element name="data" type="xs:string"	-	4刷
60ページ	問題1の選択肢C、【Conference.txt】	<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE Conference! <!ELEMENT Conference (Room)*> <!ELEMENT Room (#PCDATA)> </>	<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <ELEMENT Conference (Room)*> <ELEMENT Room (#PCDATA)>	-	4刷
61ページ	問題1の選択肢D、【Conference.txt】	<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE Conference! <!ELEMENT Conference (Room)*> <!ELEMENT Room (#PCDATA)> </>	<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <ELEMENT Conference (Room)*> <ELEMENT Room (#PCDATA)>	-	4刷
61ページ	問題1の選択肢E、【Conference.txt】	<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <!DOCTYPE Conference! <!ELEMENT Conference (Room)*> <!ELEMENT Room (#PCDATA)> </>	<?xml version="1.0" encoding="Shift_JIS"?> <ELEMENT Conference (Room)*> <ELEMENT Room (#PCDATA)>	-	4刷
63ページ	問題3 選択肢C	<!ELEMENT Conference (Room)*> <!ELEMENT product (#PCDATA)> <!ATTLIST product Situation NMTOken #REQUIRED> <!ATTLIST product Equipment ID "Projector">	<ELEMENT Conference (Room)*> <ELEMENT Room (#PCDATA)> <!ATTLIST Room Situation NMTOken #REQUIRED> <!ATTLIST Room Equipment ID "Projector">	-	2刷
65ページ	問題5 選択肢Aの2行目	<!ELEMENT data (country,((prefecture,city) (state,city)))>	<ELEMENT data (country,((prefecture,city) (state,city)))>	-	2刷
68ページ	設問7の【sample.xml】内6~7行目	ENTYTY	ENTITY	-	3刷
70ページ	解答1	C、D、E	C、D	-	2刷
72ページ	解答1 2行目	CとEは外部DTD	Cは外部DTD	-	2刷
72ページ	解答1 7行目の先頭	「正」欄の内容を追記	Eは内部DTDと外部DTDで要素型宣言が重複しているため妥当ではありません。	-	2刷
73ページ	解答2、表【内容モデルの出現パターン】の混合内容の記述方法	(#PCDATA 子要素1 子要素2 ...)	(#PCDATA 子要素1 子要素2 ...)*	-	4刷
75ページ	解答3、選択肢Dの解説	上記の条件を満たしているため、妥当なXML文書です。	上記の条件を満たしているため、適切なDTDです。	-	4刷
81ページ	解答7、下から6行目	実体宣言「(ENTITY)」にて、	実体宣言「<ENTITY...>」にて、	-	4刷
84ページ	問題2の選択肢A、10行目	<xs:element ref="Number" type="xs:NumberType" />	<xs:element name="Number" type="NumberType" />	-	2刷
84ページ	問題2の選択肢B、10行目	<xs:element ref="Number" type="xs:NumberType" />	<xs:element name="Number" type="NumberType" />	-	2刷
85ページ	問題2の選択肢C、10行目	<xs:element ref="Number" type="xs:NumberType" />	<xs:element name="Number" type="NumberType" />	-	2刷
85ページ	問題2の選択肢D、10行目	<xs:element ref="Number" type="xs:NumberType" />	<xs:element name="Number" type="NumberType" />	-	2刷
86ページ	問題3の選択肢A、【XML Schema文書】の10行目	<xs:element ref="No" type="xs:NoType" />	<xs:element name="No" type="NoType" />	-	2刷
87ページ	2行目	<xs:element ref="No" type="xs:NoType" />	<xs:element name="No" type="NoType" />	-	2刷
87ページ	問題3の選択肢C、【XML Schema文書】の10行目	<xs:element ref="Equipment" type="xs:EquipmentType" />	<xs:element name="Equipment" type="EquipmentType" />	-	2刷
88ページ	問題3の選択肢D、【XML Schema文書】の10行目	<xs:element ref="Equipment" type="xs:EquipmentType" />	<xs:element name="Equipment" type="EquipmentType" />	-	2刷
88ページ	問題4、選択肢Bの3行目	<xs:list itemType="xs:string" />	<xs:list itemType="xs:NMTOKEN" />	-	4刷
89ページ	問題4の選択肢C、3行目	<xs:union memberType="xs:string" xs:normlizedString" />	<xs:union memberType="xs:string xs:normlizedString" />	-	4刷
89ページ	問題5のXML Schema1、7行目	<xs:element name="Conference" type="string" />	<xs:element name="Conference" type="xs:string" />	-	2刷
89ページ	問題5のXML Schema1、14行目	<xs:element name="Room" type="string" />	<xs:element name="Room" type="xs:string" />	-	2刷
89ページ	問題5のXML Schema1、15行目	<xs:element name="User" type="string" />	<xs:element name="User" type="xs:string" />	-	2刷
89ページ	問題5のXML Schema1、16行目	<xs:element name="Date" type="date" />	<xs:element name="Date" type="xs:date" />	-	2刷
89ページ	問題5のXML Schema1、17行目	<xs:element name="Time" type="string" />	<xs:element name="Time" type="xs:string" />	-	2刷
89ページ	問題5のXML Schema1、18~19行目	<xs:attribute name="itemNO" type="Sku"/> </xs:sequence>	</xs:sequence>	-	4刷
91ページ	問題6の選択肢D	以下のXML SchemaはDTDでは記述できない	<ELEMENT Conference (Room)>は、XML Schemaの場合、以下のように記述できる	-	4刷
91ページ	問題6の選択肢D、XML Schemaの4行目	<xs:element name="Room" type="xs:string" minOccurs="1" maxOccurs="100"/>	<xs:element name="Room" type="xs:string"/>	-	4刷
100ページ	解答1 表【XML Schema文書の要素型宣言に適用可能な属性】	既存の属性宣言への参照	既存の要素宣言への参照	-	2刷
101ページ	解答1 表【XML Schema文書の要素型宣言に適用可能な属性】のuse属性の意味	デフォルト値の指定	出現の指定	-	4刷
102ページ	下から4行目	xmlns:schemaLocation="名前空間識別子(任意の文字列) XML Schema文書ファイル名">	xmlns:schemaLocation="名前空間識別子(任意の文字列) XML Schema文書ファイル名"	-	2刷
102ページ	下から7~8行目	要素名の先頭に名前空間接頭辞(任意の文字列)を記述します。	要素名の先頭に名前空間(任意の文字列)を記述します。	-	4刷
102ページ	下から6行目	xmlns:名前空間接頭辞(任意の文字列)="名前空間識別子(任意の文字列)"	xmlns:名前空間="名前空間識別子(任意の文字列)"	-	4刷

ページ	訂正部分	誤	正	備考	訂正した刷
103ページ	解答1、【●名前空間を使用したXMLインスタンス文書】内	<list xmlns:master="http://www.example.com/xml/schema"	<list xmlns="http://www.example.com/xml/schema"	—	4刷
103ページ	解答1、【●名前空間を使用したXMLインスタンス文書】内	xsi:schemaLocation="http://www.example.com/xml/schema/sample.xsd">	xsi:schemaLocation="http://www.example.com/xml/schema/sample.xsd">	(左の欄は掲載スペースの関係で改行しています) sample.xsdの前のスラッシュを削	4刷
112ページ	解答5、選択肢Bの解説3行目	3桁の数字と2桁の数字の間にハイフンが入ります。	3桁の数字とアルファベット2文字の数字の間にハイフンが入ります。	—	4刷
114ページ	解答6、下から1～2行目	なお、Dのように出現回数を最小1回、最大100回というような指定はDTDではできません。	(左の欄の文章に相当する部分を削除)	—	4刷
115ページ	解答7、下から5行目	モデルグループの宣言の中で、オプションとして要素の出現回数の指定ができ、これをパーティクルと呼びます。以下の2つの属性を使い分けま	モデルグループの宣言の中で、オプションとして要素の出現回数の指定ができ、以下の2つの属性を使い分けま	文章の一部を削除	4刷
115ページ	解答7、下から2行目	無制限の場合は「unbounded」と指定する (DTDでの「+」に相当)。デフォルトは1回	無制限の場合は「unbounded」と指定する。デフォルトは1回	文章の一部を削除	4刷
128ページ	xlsスタイルシート【b.xls】、7行目	<xsl:sort select="course" data-type="text"	<xsl:sort select="" data-type="text"	courseではなく"." (ピリオド) が正しい記述となります。	5刷
133ページ	解答1の図【XSLTによる変換】	XMLプロセッサ (黒地楕円の中の文字)	XSLTプロセッサ	—	2刷
138ページ	解答3の図【XPathのデータモデル】	<Date>2005/6/1 (グレー枠の中の文字)	<Date>	—	2刷
155ページ	解答9の11～13行目	ここでは、<xsl:sort select="course" data-type="text" order="descending"/>と指定しているため、course要素でソートしますが、テキスト文字列が降順になります。	ここでは、<xsl:sort select="" data-type="text" order="descending"/>と指定しているため、カレントノードでソートしますが、テキスト文字列が降順になります。	—	5刷
169ページ	解答2の正解	A、C	A、B、C	—	4刷
169ページ	解答2の1行目	AとCが名前空間に関する説明です。	(左の欄の文章に相当する部分を削除)	—	4刷
169ページ	解答2、下から2行目	接頭辞を使わないデフォルトの指定方法があります(B)。	接頭辞を使わないデフォルトの指定方法があります	「(B)」を削除	4刷
176ページ	問題2の選択肢B	XML拡張子は、「～.xml」でも「.txt」でもかまわない	XML拡張子は、「～.xml」または「.txt」にしなければならない	—	4刷
176ページ	問題3の選択肢B	XSLは、レイアウトを規定する言語としての規格と実際のレンダリング処理機能を定めるXSL-FOで構成されている	XSLは、レイアウトを表現するオブジェクトとしての規格と実際のレンダリング処理機能を定めるXSL-FOで構成されている	—	4刷
176ページ	問題3の選択肢D	XSL-FOはXSLの一部を構成するが、XSLの勧告と同時にXSL-FOとして勧告されている	XSL-FOはXSLの一部を構成するが、XSLの勧告と同時にXSL-FOとして独立して勧告されている	—	4刷
177ページ	問題7の選択肢B	実データに値がない場合 (空白値) は、「<abc></abc>」や「<abc/>」と記述することができる	実データに値がない場合は、「<abc></abc>」や「<abc/>」と記述することができる	—	4刷
180ページ	問題13の問題文	XML文書で解析 (パース) されないものを選択してください。	XML文書内で「<a>」という文字列を自由に記述できる場所を選択してください。	—	4刷
180ページ	問題13の選択肢A	<!--と-->で囲まれた文字列	<!--と-->で囲まれた部分	—	4刷
180ページ	問題13の選択肢B	CDATAセクション内の文字列	CDATAセクション内	—	4刷
180ページ	問題13の選択肢D	外部XML文書	外部一般解析対象実体	—	4刷
183ページ	問題20、XML Schemaの5行目	xmlns:tns="urn:icec:xml-data">	xmlns:tns="urn:xmldata">	—	4刷
183ページ	問題20、XML Schemaの10行目	<xs:element ref="Room"/>	<xs:element ref="tns:Room"/>	—	4刷
184ページ	問題20、1行目	<xs:element ref="User"/>	<xs:element ref="tns:User"/>	—	4刷
184ページ	問題20、7行目	<xs:element ref="Date"/>	<xs:element ref="tns:Date"/>	—	4刷
184ページ	問題20、8行目	<xs:element ref="Time"/>	<xs:element ref="tns:Time"/>	—	4刷
188ページ	問題22 選択肢A【XML文書】の4行目	<!ELEMENT empdata (firstname,lastname)>	<!ELEMENT empdata (firstname,lastname,dept)>	—	2刷
188ページ	問題22 選択肢A【person.xml】の5行目	</DEPT>	</dept>	—	2刷
189ページ	問題22 選択肢B【XML文書】の4行目	<!ELEMENT empdata (firstname,lastname)>	<!ELEMENT empdata (firstname,lastname,dept)>	—	2刷
189ページ	問題22 選択肢B【XML文書】の8行目	<!ATTLIST dept LOCATION CDATA #REQUIRED>	<!ATTLIST dept location CDATA #REQUIRED>	—	4刷
189ページ	問題22 選択肢B【XML文書】の8行目	<!ELEMENT empdata (firstname,lastname)>	<!ELEMENT empdata (firstname,lastname,dept)>	—	2刷
190ページ	問題22 選択肢C【person.xml】の4行目	<!ELEMENT empdata (firstname,lastname)>	<!ELEMENT empdata (firstname,lastname,dept)>	—	2刷
190ページ	問題22 選択肢Cの【person.txt】の2行目	<!DOCTYPE empdata [(左の欄の文章に相当する部分を削除)	—	4刷
190ページ	問題22 選択肢Cの【person.txt】の9行目]>	(左の欄の文章に相当する部分を削除)	—	4刷
191ページ	問題22 選択肢D【XML文書】の22行目	<dept Location="Nagoya">Trainer</dept>	<dept Location="Nagoya">Trainer</dept>	—	2刷
191ページ	問題22 選択肢D【XML文書】の2行目	<!DOCTYPE EMPDATA SYSTEM "person.dtd">	<!DOCTYPE empdata SYSTEM "person.dtd">	—	2刷
191ページ	問題22 選択肢D【person.dtd】の2行目	<!DOCTYPE EMPDATA [<!DOCTYPE empdata [—	2刷
191ページ	問題22 選択肢Dの【person.txt】の2行目	<!DOCTYPE empdata [(左の欄の文章に相当する部分を削除)	—	4刷
191ページ	問題22 選択肢Dの【person.txt】の9行目]>	(左の欄の文章に相当する部分を削除)	—	4刷
192ページ	問題23、選択肢A、B、C	(右欄の内容を各選択肢の3行目に追加)	<!ELEMENT data EMPTY>	—	4刷
193ページ	問題24、選択肢C	IDREF型がXMLインスタンス部分で使用されていないので妥当なXML文書ではない	IDREF型の値がXMLインスタンス部分で使用されていないので妥当なXML文書ではない	—	4刷
207ページ	問題29 選択肢Dの11行目	maxOccurs="10" />	maxOccurs="10" />	—	2刷
211ページ	問題34、選択肢C【XML文書】	<Room xmlns="urn:xmldata" nil="true"></Room>	<Room xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns="urn:xmldata" xsi:nil="true"></Room>	—	4刷
211ページ	問題34、選択肢D【XML Schema文書】3行目	<xs:element name="Room" type="xs:string" use="optional" />	<xs:element name="Room" type="xs:string" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded" />	—	4刷
211ページ	問題35、選択肢Aの【XML Schema文書】の2～3行目	<xs:schema xmlns:xmldata="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" targetNamespace="urn:xmldata">	<xs:schema xmlns:xmldata="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">	—	4刷
211ページ	問題35、選択肢Aの【XMLインスタンス】の2行目	<price xmlns="urn:xmldata">20000</price>	<price>20000</price>	—	4刷
212ページ	選択肢B【XMLインスタンス】2行目	<price></price>	<price>10001</price>	—	4刷
212ページ	問題35、選択肢Cの【XML Schema文書】の2～3行目	<xs:schema xmlns:xmldata="http://www.w3.org/2001/XMLSchema" targetNamespace="urn:xmldata">	<xs:schema xmlns:xmldata="http://www.w3.org/2001/XMLSchema">	—	4刷
212ページ	選択肢C【XMLインスタンス】2行目	<Room nil="true" xmlns="urn:xmldata">	<Room xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:nil="true" />	—	4刷
213ページ	選択肢D【XML Schema文書】6行目	<xs:element name="Room" type="xs:string" use="optional" />	<xs:element name="Room" type="xs:string" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded" />	—	4刷
224ページ	問題36、選択肢Aの5～6行目	<xsl:element name="kaigi"/> <xsl:apply-templates select="//Information/Room" />	<xsl:element name="kaigi"> <xsl:apply-templates select="//Information/Room" /> </xsl:element>	—	4刷
229ページ	問題44 1行目	<xsl:template match="//information">	<xsl:template match="//Conference">	—	2刷
229ページ	問題44 4行目	<xsl:template match="data">	<xsl:template match="Equipment">	—	2刷
229ページ	問題44 選択肢A	Conference[2,3]	Equipment[2,3]	—	2刷
229ページ	問題44 選択肢B	Conference[string-length(.)>=10]	Equipment[string-length(.)>=10]	—	2刷
229ページ	問題44 選択肢C	Conference[(position() >=2) and (position() <=3)]	Equipment[(position() >=2) and (position() <=3)]	—	2刷
229ページ	問題44 選択肢D	Conference[[last()]/Equipment/text()]	Equipment[[last()]/Equipment/text()]	—	2刷
230ページ	問題45 選択肢A	/~/Information[position()=0]/User/text()	/~/Information[position()=0]/User/text()	—	2刷
230ページ	問題45 選択肢B	/~/Information[position()=1]/User/text()	/~/Information[position()=1]/User/text()	—	2刷
230ページ	問題45 選択肢C	/~/Information[0]/User/text()	/~/Information[0]/User/text()	—	2刷
230ページ	問題45 選択肢D	/~/Information[1]/User/text()	/~/Information[1]/User/text()	—	2刷
234ページ	解答3の2行目	XSL (Extensible Style Sheet Language)	XSL (Extensible Stylesheet Language)	—	4刷
237ページ	解答7の2行目	ただし、実データが空白値である場合には、	ただし、実データがない場合には、	—	4刷
237ページ	解答9、選択肢Cの解説	終了タグの「>」	終了タグの「<」	—	4刷
238ページ	解答13	コメント内やCDATAセクション内の文字列は解析できません。	コメント内やCDATAセクション内では、「<a>」という文字列を自由に記述できます。	—	4刷
240ページ	解答22の1～2行目	Aは外部サブセットとし、DTDをperson.xmlに定義しています。1件目のさとうまなぶさんのデータを実参照して値をセットします。	Aは内部にDTDを記述し外部サブセットとし、DTDをperson.xmlに定義しています。1件目のさとうまなぶさんのデータを実参照して値をセットしています。	—	4刷
241ページ	解答23の4～5行目	Dは既定値に#IMPLIEDが指定されているので、必ずしも出現しない可能性があります。Dでは、data要素がEMPTYと指定され、空要素として定義されていますが、これは必ずしも間違いではありません。ただし、「最も適切なDTD」とあるのでCが正解です。	Dは既定値に#IMPLIEDが指定されているので、必ずしも出現しない可能性があります。	誤欄にある文章の打ち消し線部分を削除	4刷
241ページ	解答24の3行目	ただし、ID型の値が1つのXML文書内で一意である必要があります。	ただし、すべてのID型の値は1つのXML文書内で一意である必要があります。	—	4刷
242ページ	解答25	(解説部分の全部を右の欄の内容に差し替え)	実参照が重複指定している場合は、先に宣言したほうが優先されます。定義が重複していても、特にエラーが発生するわけではありません (D)。また、定義が重複していなければ、ともに有効です。重複した実体名の優先順序は以下のとおりです。 ・重複した実体名は先に宣言されたほうが有効である したがって、重複している「会議C」については、先に宣言されたほうが優先されるため、「<Room>コマンドルーム3</Room>」と置換されます (C)。AとBは、このとおりに置換されます。	—	4刷

ページ	訂正部分	誤	正	備考	訂正した刷
242ページ	解答26	(解説の1行目に、右の欄の内容を追加)	内部DTDと外部DTDを組み合わせて定義してもかまいません。たとえば、他社との共通部分のDTDは外部で指定し、社内ですべて使う部分のみ内部で指定するという利用方法が考えられます。	補足のため追加しました	4刷
243ページ	解答27、【例 XML Schemaの定義】	(1行目に、右の欄の内容を追加)	<xs:sequence>	—	4刷
243ページ	解答27、【例 XML Schemaの定義】	(最終行に右の欄の内容を追加)	</xs:sequence>	—	4刷
243ページ	解答27、下から6行目	この<xs:all>は、	また、この<xs:all>は、	—	4刷
245ページ	解答28、【例 要素の出現順を指定】の下、1～3行目	設問の要件である、「weather要素は0回または1回または複数回出現する」「weather要素の子要素は文字データを直接含み、場合によってはpartly要素またはchanges要素を含む」は、DTDで表すと以下ようになります。	設問の要件である「weather要素の子要素は文字データを直接含み、場合によってはpartly要素またはchanges要素を含む」は、DTDで表すと以下ようになります。	一部を削除しました	4刷
247ページ	【例 設問の要件④ (XML Schema)】の3～4行目	<xs:minExclusive value="0" /> <xs:minExclusive value="24" />	<xs:minInclusive value="0" /> <xs:minInclusive value="24" />	—	4刷
249ページ	解答30、2行目	unsignedByte型は、8ビットで表せる(符号なし)整数です(A)。	unsignedByte型は、8ビットで表せる(符号なし)整数(最大値は255)です(A)。	—	4刷
250ページ	解答32、3行目	また、Conference要素についても、	また、Detail要素についても、	—	4刷
251ページ	解答34の選択肢Cの説明	末尾に「正」欄の内容を追加	「 xsi:nil="true"」なら値がnullの空要素、「 xsi:nil="false"」なら値が空文字の空要素です。	—	4刷
251ページ	解答34の選択肢Dの説明	「正」欄の内容に差し替え	XMLSchemaのRoom要素の値が「 minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"」と定義されています。XML文書のRoom要素が1回出現しているため、正しい記述です。	—	4刷
251ページ	解答35の選択肢Bの説明	XML Schemaのprice要素の値として、「 fixed="10000"」が定義されていますが、XMLインスタンスには値が記述されていないので、妥当ではありません。	XML Schemaのprice要素の値として、「 fixed="10000"」が定義されていますが、XMLインスタンスには10001の値が記述されているので、妥当ではありません。	—	4刷
251ページ	解答35の選択肢Cの説明、下から4行目以降	「<Room nil="true" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"/>」とする必要があります。	「<Room xsi:nil="true" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"/>」とする必要があります。「 xsi:nil="true"」なら値がnullの空要素、「 xsi:nil="false"」なら値が空文字列の空要素です。	—	4刷
251ページ	解答35の選択肢Cの説明、1行目	XML Schemaのprice要素の値として、	XML SchemaのRoom要素の値として、	—	4刷
251ページ	解答35の選択肢Dの説明	右の欄の内容に差し替え	XML SchemaのRoom要素の値が「 minOccurs="1" maxOccurs="unbounded"」と定義されています。XMLインスタンスのRoom要素が1回出現しているため、妥当です。	—	4刷
262ページ	解答49、2行目	子要素のClientまでその名前空間に関連付けていますが、	子孫要素のClientまでその名前空間に関連付けていますが、	—	4刷
264ページ	問題1、選択肢A	XML文書は、SOAPを使って送受信する	XML文書は、SOAPを使って送受信できる	—	4刷
264ページ	問題1、選択肢B	XML文書は、HTTPで送受信する	XML文書は、HTTPで送受信できる	—	4刷
264ページ	問題1、選択肢D	XML文書は、SMTPでは対応されていない	XML文書は、SMTPでは送受信できない	—	4刷
266ページ	問題5、選択肢D	Exclusive XML CanonicalizationはXML Canonical XMLの名前空間を解決した仕様である	Exclusive XML CanonicalizationはXML Canonical XMLの名前空間の問題を解決した仕様である	—	4刷
267ページ	問題9、問題文	文字コードに関する説明として誤っているものを選択してください。	文字参照に関する説明として誤っているものを選択してください。	—	4刷
267ページ	問題9、選択肢A	要素の内容に、キーボードから直接入力できない文字や表示できない文字を記述するために文字コードを直接入力することができ、文字参照を使う	要素の内容に、キーボードから直接入力できない文字や表示できない文字を記述するために文字コードを直接入力することができ、それを文字参照という	—	4刷
267ページ	問題9、選択肢B	文字コードは、ISO/IEC10646のコードを使用する	文字参照は、ISO/IEC10646のコードを使用する	—	4刷
267ページ	問題9、選択肢C	文字コードを10進数で表した場合、「」で表す	文字参照を10進数で表した場合、「」で表す	—	4刷
267ページ	問題9、選択肢D	文字コードを16進数で表した場合、「&#x文字コード;」で表す	文字参照を16進数で表した場合、「&#x文字コード;」で表す	—	4刷
276ページ	問題20 選択肢C	<Room Equipment="Projector">会議室A</Room>	<Room Equipment="Projector">会議室A</Room>	—	2刷
291ページ	問題29、問題文	以下のXML文書に沿っている	以下のXML文書に沿う	—	4刷
292ページ	選択肢Dの【Conference.xs】の12行目	<xs:attribute name="Equipment" type="xs:string" use="required"/>	<xs:attribute name="Equipment" type="xs:string" use="required"/>	—	2刷
295ページ	問題30の選択肢B、16～20行目	<xs:sequence maxOccurs="bounded"> <xs:element ref="ProductName" /> </sequence> <xs:attribute name="ProductNo" type="xs:string" use="required"/> </xs:complexType>	左の欄の文章に相当する部分を削除	—	2刷
295ページ	問題30の選択肢B、9行目	<xs:extension base="xs:string">	<xs:extension base="xs:string">	—	2刷
296ページ	問題30の選択肢C、8～9行目	</xs:sequence> <xs:attribute name="ProductNo" type="xs:string" use="required"/>	<xs:attribute name="ProductNo" type="xs:string" use="required"/> </xs:sequence>	—	2刷
296ページ	問題30の選択肢C、21～25行目	<xs:sequence maxOccurs="bounded"> <xs:element ref="ProductName" /> <xs:attribute name="ProductNo" type="xs:string" use="required"/> </sequence> </xs:complexType>	左の欄の文章に相当する部分を削除 </xs:sequence>	—	2刷
297ページ	問題30の選択肢D、26～30行目	<xs:sequence maxOccurs="bounded"> <xs:element ref="ProductName" /> </sequence> <xs:attribute name="ProductNo" type="xs:date" use="required"/> </xs:complexType>	左の欄の文章に相当する部分を削除 </xs:sequence>	—	2刷
300ページ	問題35のXML Schema文書、4行目	<xs:complexType name="Conference">	<xs:complexType name="ConferenceType">	—	4刷
314ページ	問題48、選択肢D	soap:encodingStyle → http://www.w3.org/2002/12/soap-encoding	soap:encodingStyle → http://www.w3.org/2002/12/soap-envelope	—	4刷
315ページ	問題50、問題文	(複数選択可)	問題文末尾の「(複数選択可)」を削除	—	4刷
318ページ	問題5、3～4行目	記述するための手段として提供されているもので、	記述できる場合の	—	4刷
320ページ	解答10の正解	A	D	—	4刷
320ページ	解答10の解説	(解説文8行目の次に「正」欄の内容を追加)	ただし、要素の内容としての空白は無意味な空白ではありません。	—	4刷
320ページ	解答10の解説、10～11行目	Aが正解です。タブも改行も半角スペースになります。	Dが正解です。	—	4刷
322ページ	解答17の5行目	(Right Left)+	(Right Left)+	—	3刷
322ページ	解答14、1～2行目	属性の値は要素名と同様に、	ID型属性の値は要素名と同様に、	—	4刷
326ページ	解答25、4行目	DTDでは、Eのような	Eのような	—	4刷
331ページ	解答29の正解	A、B、C、D	A、B、D	—	4刷
331ページ	解答29の最終行	選択肢はさまざまパターンで記述しましたが、すべて正しい記述です。	(左の欄の文章に相当する部分を削除)	—	4刷
333ページ	解答30の例「誤った属性の定義の3行目	<xs:attribute name="ProductNo" type="xs:date" use="required"/>	<xs:attribute name="ProductNo" type="xs:string" use="required"/>	—	2刷
333ページ	解答30の例「正しい属性の定義の4行目	<xs:attribute name="ProductNo" type="xs:date" use="required"/>	<xs:attribute name="ProductNo" type="xs:string" use="required"/>	—	2刷
340ページ	解答45の解答	B、C、D	A、B、C、D	—	5刷
340ページ	解答45の1～2行目	Aは、両方はRoom要素を指しているため、「会議室A」だけでなく「応接室A」も出力してしまいます。	selectの機能は対象のノードを単純に選択するだけなので、設問のケースでは2つのテキストノードが選択されます。しかし、value-ofの機能として、複数のノードが選択された場合、最初のノードだけを処理します。したがって、「会議室A」のみが出力されます。	—	5刷
340ページ	解説45の本文2行目	value-ofの機能として	value-ofの機能として	—	6刷
342ページ	解答49、7行目	異なる名前空間に属性を所属させたいような場合は、	名前空間に属性を所属させたいような場合は、	—	4刷
342ページ	解答49、8行目	【例】異なる名前空間への属性の関連付け	【例】名前空間への属性の関連付け	—	4刷
342ページ	解答50の正解	B、D	B	—	4刷
343ページ	解答50、選択肢Dの説明2つ目の項目	・ Machine要素、Server要素、Database要素は、名前空間「http://www.example.org/sample1」に所属	・ Machine要素、Server要素、Database要素も、名前空間「http://www.example.org/sample」に所属	—	4刷
343ページ	解答50、選択肢Dの説明3つ目の項目	・ Client要素とlayer属性も、名前空間「http://www.example.org/sample1」に所属	・ Client要素とlayer属性は、名前空間「http://www.example.org/sample1」に所属	—	4刷
343ページ	解答50、最終行	に所属しているのはBとDです。	に所属しているのはBです。	—	4刷